

各 位

平成 14年 7月 5日

会社名 日本セラミック株式会社
代表者名 代表取締役社長 谷口義晴
(コート番号 6929 東証第1部 大証第1部)
問合せ先 取締役総務部長 米沢 泰
TEL (0857) 53 - 3600

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 14年 2月 27日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正します。

記

1. 14年 12月期連結中間業績予想数値の修正 (平成 14年 1月 1日 ~ 平成 14年 6月 30日)

(単位 :百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 14年 2月 27日 発表)	6,500	700	400
今回修正予想(B)	6,150	535	676
増減額(B - A)	350	1,235	1,076
増減率	5.3	176.4	269.0
前期 (平成13年 12月中間期)実績	6,677	2,317	1,379

2. 14年 12月期中間業績予想数値の修正 (平成 14年 1月 1日 ~ 平成 14年 6月 30日)

(単位 :百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 14年 2月 27日 発表)	6,400	1,000	600
今回修正予想(B)	5,970	566	339
増減額(B - A)	430	434	261
増減率	6.7	43.4	43.5
前期 (平成13年 12月中間期)実績	7,963	2,355	1,463

3. 14年 12月期連結通期業績予想数値の修正 (平成 14年 1月 1日 ~ 平成 14年 12月 31日)

(単位 :百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 14年 2月 27日 発表)	14,900	2,400	1,500
今回修正予想(B)	13,900	532	30
増減額(B - A)	1,000	1,868	1,470
増減率	6.7	77.8	98.0
前期 (平成13年 12月期)実績	12,442	3,268	1,816

4.14年 12月期通期業績予想数値の修正 (平成 14年 1月 1日 ~ 平成 14年 12月 31日)

(単位 :百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 14年 2月 27日 発表)	14,600	2,300	1,400
今回修正予想(B)	13,700	1,154	693
増減額(B - A)	900	1,146	707
増減率	6.1	49.8	50.5
前期 (平成13年 12月期)実績	14,213	3,120	1,906

5.理 由

平成 14年 12月中間期の業績予想につきましては、連結では売上高 6,500百万円、経常利益 700百万円、当期純利益 400百万円、単体では売上高 6,400百万円、経常利益 1,000百万円、当期純利益 600百万円としておりましたが、これを連結が売上高 6,150百万円、経常利益 535百万円、当期純利益 676百万円、単体が売上高 5,970百万円、経常利益 566百万円、当期純利益 339百万円にそれぞれ修正させていただきます。

この修正は一つには、私共の主要な生産国であります中国がWTOに昨年末加盟した結果、旧来の会計制度から、2002年 1月 1日付でより国際的な会計制度を導入し、低価法評価、あるいは減損会計が可能となったことから、当社グループにおいても国際的な事業競争に対応できる体制、原価構成を目指し、特に棚卸資産について極力保守的な見地から評価替を積極的にすすめることにしたこと、および当社の属する電機電子部品業界は、昨年後半に比べ動きは出てきたものの、コスト競争は依然として厳しく、数量の増加が売上増、利益増になかなか結びつかない状況であり、特にフェライト・コアが計画を下回って推移していることによります。

同様に通期の業績予想につきましても、連結が売上高 14,900百万円、経常利益 2,400百万円、当期純利益 1,500百万円、単体が売上高 14,600百万円、経常利益 2,300百万円、当期純利益 1,400百万円としておりましたが、これを連結で売上高 13,900百万円、経常利益 532百万円、当期純利益 30百万円、単体が売上高 13,700百万円、経常利益 1,154百万円、当期純利益 693百万円にそれぞれ修正させていただきます。

以 上